



県連情報



第 52 号

2002 年 7 月 1 日
発行：日本ボーイスカウト富山県連盟 組織情報委員会

Lineup

第 4 5 回富山県大会感想	滑川第 1 団ビーバー隊 稲沢 拓 君 高岡第 2 6 団カブ隊 3 組 松下 祥 君 砺波第 1 団ボーイ隊 安力川 卓弘 君 富山第 6 団ベンチャー隊 高橋 昂大 君
県大会を振り返って	資材会場班班長（魚津第 2 団） 保要 孝三
第 4 5 回ボーイスカウト富山県大会に思うこと	城端第 1 団ボーイ隊長 河合常晴
より良いスカウティングを	プログラム委員長（高岡第 1 団） 嶋 一夫
帆柱の上の双眼鏡のように	プロジェクト委員長（高岡第 2 団） 能登 和敏
WB 実修所：CS 課程 第 1 2 7 期に参加して	富山第 1 7 団 CS 隊副長 稲場 勝
コラム	富山地区副コミッショナー（富山第 1 4 団） 相川 仁
INFORMATION	富山県連盟 事務局

第 45 回富山県大会の感想

けん大会について

なめりかわ だい 1 だんビーバーたい
いなさわ たく

5 月 1 2 日うおづでけん大会がおこなわれました。

ホタルイカの風せんをもって町をパレードしました。歩くのはたいへんだったけど、とてもおもしろかったです。パレードはたくさんの方がいるのでたいへんおどろきました。こてきたいもすごかったです。

町を歩きながらたくさんゲームをしました。かいぞくせんややしの実をころがすゲームがたのしかったです。そうがんきょうもつくりました。おもったよりもよく見えてうれしかったです。けん大会はたいへんつかれたけどまた行きたいです。

県大会

高岡第 2 6 団カブ隊 3 組
松下 祥

県大会ではいろいろなことをして、団の仲間と前よりも仲良くなったと思います。ヤシの実を転がすゲームがおもしろかったと思います。最後にゴムゴムの実（アメ）をもらってうれしかったです。プラパンを作るときは、魚を書いて日付と「県大会」と書きました。しんきろうなべはつかれていたのでおいしいと思いました。目かくしをして歩くのはかなりこわかったです。でも、少し時間はかかったけどチームワークが高まったと思います。今年の県大会は団の中や組の中や他の団とも仲良くなっているいろいろなことを学べたと思います。つかれたけど楽しかったです。

ボーイスカウト県大会に参加して

砺波第1団ボーイ隊 安力川 卓弘

5月12日にあったボーイスカウト県大会で、僕は班長をしました。でも僕は、あまりまとめるのがうまいほうではなかったのととても心配でした。

会場について開会式が始まり、パレードになりました。パレードは町の人がたくさん見に来ていたのでとても緊張しました。

そしてプログラムが始まり、プログラムの内容が4つくらい残っているのに班員が海の方で遊びだして時間がとてもロスしてしまいました。でもその後は、反省してくれてなんとか1つ2つとクリアしていきました。

しかし、あと2つどうしても時間が無くてできませんでしたがまとめる大変さがとてもよくわかりました。このあと8月にある日本ジャンボリーに元気に参加したいと思います。

県大会でのスカウトの活躍

富山第6団ベンチャー隊 高橋 昂大

五月十二日の県大会が無事に終わって本当に良かったです。

五月十一日のベンチャーフォーラムでは真成寺の設備を活用させて頂き、本当にありがとうございました。十二日のベンチャーの奉仕活動がスムーズに行えたのも、設備の整ったところで、自分達の思い描いたものが実現できたからです。

十二日のパレードの参加や祭典では、自分の経験不足から、少し戸惑う場面に会いました。修行不足だと感じています。

ベンチャースカウトは、みんなの支えだと思います。他のスカウトを支えるために、これから一生懸命がんばろうと思います。

魚津での経験を生かし、これからの活動に力を注いでいきたいです。

県大会を振り返って

資材会場班 班長 魚津第2団 保要 孝三

復団3年目の魚津第2団にとって今回の県大会はいろんな意味合いがありました。

私にとっては初体験でしたが、地元開催ということできなり資材会場班の班長を命ぜられ、大きなプレッシャーとなりました。大会が近づくにつれ食事も喉を通らない日々が続きました。昨年からの種々の打合せ、会合を重ねた上の大会前日の準備設営等の流れを見ていると、多くのリーダーの献身的な動きに感心せざるを得ませんでした。また周囲はベテラン勢のため、私の存在などどうでもよく気軽な気分に変換することとなりました。

大会当日の式典会場の華やいだ雰囲気越し、裏方の一員として大きな喜びとなりました。パレードの様子も少し見る事ができましたが、感慨深いものがありましたし、地元魚津にとって大きなアピールになったことと思います。

最後に全体を通して、一部では若干のミスやトラブルがあったとは思いますが、大局的には大成功に終わったものと感じています。皆様、お疲れ様でした。

- BS NEWS -

富山県連盟のメールマガジンの配信を希望される指導者の方は、県連盟事務局まで氏名・所属団・メールアドレスをご連絡下さい。現在21号まで発行されています。

第45回ボーイスカウト富山県大会に思うこと

城端第1団ボーイ隊長 河合 常晴

久しぶりに県大会に参加しました。ちょっと事情があって、しばらく失礼していました。

懐かしい県大会の雰囲気は、「それなりに」すがすがしいもので、全スカウトが一堂に集うこの大会を改めて良いものだと感じました。また、魚津市でのBS運動の復活は意味があり、その地での開催はこれからの県内のBS運動にとっても有意義だったと思います。

今回の県大会で特に感じたことは、式典中のスカウト・指導者の姿です。多少残念に感じたのは私だけでしょうか？スカウトの式典は整然としていて、国旗をきっちりと掲揚し、日本連盟歌を堂々と大きな声で歌い、来賓の挨拶は静かに聞き、規律正しい姿勢を保つことが本来のあるべき姿ではないでしょうか？そのためには、スカウトたちにどういう配慮が必要かを十分吟味して、式典にあたる必要があったと思います。また、連盟歌を歌っていない指導者のなんと多い事か！「指導者の皆さんは連盟歌を大きな声で歌いましょう！」と指示を出さなければならないボーイスカウトは悲しすぎます。

式典の設定内容にも多少問題はありますが、指導者自らがスカウトらしく「ちかいとおきて」の実践を常に心掛けて、心地よいスカウティングが展開できればいいと思っています。

より良いスカウティングを

富山県連盟プログラム委員長
嶋 一夫

三指 皆さん、今日は。前委員長の石田修さんが県コミッショナーに就任されたのにもない、今期プログラム委員長に委嘱されました。何卒よろしく申し上げます。

スカウト達が益々活躍、成長する夏の季節となり、各団・隊では、いろいろ計画を立て準備しておられると思います。安全で楽しい隊集会を実施してください。今年は特に日本ジャンボリーの開催年であり、参加スカウトや奉仕されるリーダーの皆さんは事前の訓練キャンプ等で忙しくお過ごしのことと存じます。健康に気をつけて頑張ってください。よりよい成果を期待しています。

さて、ボーイスカウト部門の進歩課程が今年9月1日より改正されます。進級課目が新しくなり挑戦しやすく、より楽しいスカウト活動になるのではないかと期待しています。9月には、説明会を2回開催いたします。委員会では、その他、技能章考査員の選任、宗教章取得のためのハンドブックの作成、隊プログラムの研究、県連盟ローパス会議への支援など作業が多くあります。コミッショナーグループやトレーニングチームの援助を得ながら、委員会一同協力し目的を達成します。今後も何卒リーダーの皆様のご協力・ご助言の程よろしく申し上げます。 弥栄

トピックス

石田哲也君（高岡第2団VS）のベンチャー部門の富士章が認証されました。授与NO492、県内で2人目の富士章スカウトで、富士スカウトと合わせると14人目となります。石田君おめでとうございます！！

帆柱の上の双眼鏡のように

富山県連盟プロジェクト委員長
能登 和敏

魚津で実施された県大会も成功裏に終える事ができました。この県大会はすでに45回をむかえ、他県連には無いすばらしい行事だと自負しております。各年代のスカウト達がイキイキとした表情で、魚津の町並みを舞台に活動している様子がとても愛おしくそして頼もしく感じました。

さて、先日行われた第1回のプロジェクト委員会において、今年度は次の三点を基本として活動をしていきたいとの結論に達しました。

- 1) スカウトの視点に立った活動
- 2) 見える県連行事にする（途中経過も含めて構成員に見えるように）
- 3) これまで活動がおこなわれていない地域の発掘・振興をはかる

これらの実現の為には、帆船が航海をするときに大海原の中で大陸を見いだす双眼鏡のように成りたいと思っております。我々の進むべき方向に間違いなく舵を向ける事ができるように、私たちの船の現在地を的確に把握し、すばらしい冒険の旅をすすみたいと思います。

常に未来を見据えて、私たちをとりまく環境問題などさまざまな問題を直視して航海を続けたいと思えます。さらには新大陸（未組織地域）をクルー（加盟員）と共に発見することもできますでしょう。ここから、新たな挑戦がまた始まる事でしょう。ヨーソロー「面舵いっぱい！」。

B - Pの言葉

バッジは、少年が趣味や職業を持つように励まし、それを一定の水準まで進歩させることを意図したものに過ぎない。バッジは、少年が何かを成し遂げたということを外部の人に示すものであって、テストに合格し専門的技術を持っている者だということを示すものではない。

班制度の主たる目的は、少年たちの性格を発達させるためにできるだけ多くの少年たちに具体的な責任を与えることにある。隊長が、班長に実質的な力を与えて大きな期待をかけて、自由に仕事をさせるならば、学校教育がこれまでしてきたもの以上に少年たちの性格を発達させることができるのである。

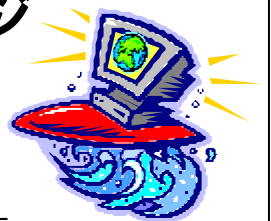
Baden Powell & Gilwell

ボーイスカウト富山県連盟ホームページ

あなたはもうアクセスしましたか？

<http://www.vl.takaoka-nc.ac.jp/~bstoyama/>

富山県から全国 全世界へ向けて 県連の様子 各団の様子 スカウト募集情報を発信しています。



富山第 17 団 CS 隊 副長
稲場 勝

新緑の Golden Week に立山少年自然の家の玄関で、雨具姿の“いつもの顔”が笑顔で。“懐かしい顔”と再会。“初めての顔”?? 石川・福井・静岡・神奈川・富山の 5 県から 20 名が集まります。さあ今から 1 週間の期待と、ついていけるかなあって不安です。石田コミッショナーより名前を呼ばれ“班別け”の始まり。我“やまばと班”は静岡の杉山隊長、福井の石川副長、砺波の桶川副長、高岡の品川隊長と自分の 5 名。全員が始めての出会い、重いリックサックを背負い B-P ハットまでの長い降り坂を自己紹介しながら下っていきます。

小雨が上がり日差しの中、開所式。静岡の小笠原所長・・・所員みなさんの紹介です。

小笠原所長より『君たちは、ボーイスカウトの成人指導者です。5 泊 6 日の実修所でセッションがあるが、自らの悩みを問、スカウティングがより良くなるように、自ら学び、ここに集っている。そして、集える幸せに、出させて頂いた“みなさん”に感謝して研修をつづけてください。』

5 泊 6 日お世話になる森に設営開始。安全に、コンパクトに、必要な物からみんなで協力し合って、ほぼ 4 日目に完成。炊事場は竹製フック付きの“システムキッチン”です。

夕食後、早くも小笠原所長のお叱り。『5 分集合の実修がなっていない。成人指導者としての最低のルールを守っていない。』一同、気が切り替わります。・・・叱るタイミングの良さに感心します。

さえずりで目覚め、ゴソゴソ、朝食を食べ、整列。点検！成田主任の満面の笑みから『眠れました？出ました？』の気遣い。『テントサイトの草が踏み荒れている。いつも改善しましょう。』の一言。一同、ホッ。・・・気が付くまで我慢強く教える良さを学びます。

セッションが始まり優秀班や努力した人に、【ウルトラマン】のフィギアが贈られます。始めはあんなものと思っていますが、班の競い合いや、自分の努力を評価されます。・・・早く欲しくなる自分に気付き、スカウトもそうなるだろうなって思います。

どうして、実修所の所員の皆さんはカッコいいの？論すような語り、自信を持った言葉、折り目の立つズボン、所長の真っ赤なカーボーイジャケット、関川チューターの自然石文鎮クラフト e t e

セッションは“ちかいとおきて”“プログラム立案”“コミュニケーション”e t e、改めてむずかしさに疾駆八苦しながら没頭します。成田主任より小枝の“善いフクロウ”“目かくしフクロウ”賞が出てなごやかさの演出。小笠原所長は『なぜ、大輪になるの？なぜ、ちかいとおきてなの？なぜ、班制度なの？いつも考えスカウティングを進めよう。』

セッションの合間、夕食での語らい、『リーダー不足で困っている？』『ちかいとおきてをどうして教えるの？』『保護者とコミュニケーションは？』現隊の経験を話し得ようと真剣です。

あっと間に 5 日目、楽しみな営火です。闇に白く浮かぶ小路を進み、丸太の席で待つと、ソング・スタンスの始まり。我班の出番、“三保の羽衣”をぶっつけ本番。不安でしたが、大きな声で演じみんな役者！所員スタンス“笠地蔵”が始まり、堂々の演技にいつの間にか舞台上に釘付け。せりふに“ちかいとおきて”を取り入れ心に沁みます。闇が深まり小笠原所長が腰掛け、みんなが 2 重 3 重に座り周りを囲みます。おちついた語り『B-P が始めてキャンプをした時もスカウトに話をしたのだろう。スカウトのことを考え、言葉をかけよう。自分が隊長の時に、“どんぐり”をスカウトに贈った。スカウトは“ほめられた”気持ちをいつまでも持ち続けている。隊長から誉められたいと、もっとがんばるよ。』・・・いつの間にか、少年スカウトになり、すがすがしい心、声を出す事ができない感動！

さあ撤営ゲームの始まりです。みんなで力を合わせ、テントをたたみ、資材の運び、やり方の議論、終わったと思ったらペグピンが足りない、懸命な捜査。発見。喜び、握手。関川チューターより『“諍い”は互いの心に思いやりをもつ事で“喜び”変わります。』・・・自分自身の心の足りなさに気が付きます。充実した満足顔、まだまだ解らない不安顔で閉所式の整列です。太陽に照らされた国旗に敬礼。小笠原所長からの“履修証”の授与、とても握手が嬉しくて感極まる思いです。

自分は、実修所で充実した時間、所員の一拳手一投足、学んだセッション、仲間の言葉を思い、スカウティングをより良くできるように、「奉仕実績訓練」を引き続き実修していきます。

最後に、我々の為に遠路から来ていただいた小笠原所長や所員の皆様。石田 コミッショナーや富山県連盟のスタッフの方々に深く御礼申し上げます。そして、実修所に参加させていただいた家族や隊の仲間から心から感謝を申し上げます。

弥栄

～編集より～

まもなく第 13 回日本ジャンボリーが開催されますね。この大会が参加されるすべてのスカウトにとってすばらしい大会となることを祈っています。
(T・F)

【発行元】

日本ボーイスカウト富山県連盟事務局

tel : 076-432-6505

e-mail : bstoyama@p1.coralnet.or.jp

「県連情報」に対するご意見、ご希望、ご感想をお寄せください。

～コラム～

4月から完全学校週5日制が始まりました。子供たちの土、日の過ごし方ということが、組織拡張の上でも話題になりますが、私たちはボーイスカウトの指導者ですから、「指導する」という立場で少し考えてみたいと思います。

完全学校週5日制に合わせて、学校教育が変わりました。いくつか変わったことがあるのですが、その一つに「総合的な学習の時間（以下総合）」の新設があります。お子さんが学校に通っていらっしゃる方はピンとくると思いますが、時間割の中に社会や国語、道徳などに加えて総合という時間が入ってきました。平均すると一週間に3時間くらい、総合が時間割に顔を出すことになっていますが、これは、国語、算数に次いで多い時間数です。完全週5日制になって全体の授業時数が減っているのに、新参者が3位のランキングですから、いかに総合が重視されているかということになります。

総合では、知識を教え込むのではなく、「自ら学び、自ら考える力の育成」「学び方や調べ方を身につけること」をねらって学習が展開されます。言い換えれば、「自分で課題を見つけ、進んで問題解決をしていく（生きる力）」ということや「自分らしいやり方や考え方、見方がわかる（生き方）」ということをお大切に学習を進めていこうというのです。

よく考えてみると、それは、ボーイスカウトの教育が大切にしてきたことと同じじゃないかなと思うのです。一人一人の課題や挑戦意欲が大切だということや結果を出すまでのその子らしいやり方を大切にしていこうということは、日頃、私たちがスカウトたちと向き合いながらやっている姿そのものではないでしょうか。

では、総合の視点で、自隊の活動をチェックしてみたらどうなるでしょう？

なぜその活動をするのかという目的や活動の中に隠された指導者側のねらいをはっきりさせて活動に臨んでいたか。そして、一人一人のスカウトが自分の挑戦（体験）を十分に行えるように、時間や場所、集団（組別、課程別など）を工夫していたか。……ううむ、なかなか難しいですね。特に、後半が難しい。一人一人のニーズや個人差を十分吸い上げることができていないのが自隊の現状です。また、ここでのキーワードは、「一人一人」です。たとえ、隊集会でみんなが一斉に活動していても、挑戦は一人一人の中で行われていますから、十把一絡げではなくて、一人一人の取り組みの様子をしっかりと見て、その子にあった挑戦を十分できるように配慮する必要があります。デンリーダーさん達はよく見てくださっていますが、私自身は、ちょっと自信がありません。次第に、私の反省文のようになり、うつむき加減になってしまいましたが、みなさんの隊ではいかがでしょうか。

ところで、完全学校週5日制の導入で、もう一つ世間をにぎわしている言葉があります。「基礎・基本の定着」です。では、スカウト教育の基礎基本とは何でしょうか？

富山地区副コミッショナー（富山第14団） 相川 仁

13NJ 情報

《富山県連盟派遣団の日程》

先々発 8/1（木）8時出発（自家用車）
 ドラム隊 8/1（木）9時出発（大型バス）
 先発隊 8/2（金）7時28分富山発（JR）
 派遣団壮行式 8/2（金）8:30～8:50富山県庁正面
 県関係視察 8/5（月）会場視察は午後～夜

	午前	午後	夜
8/2（金）	壮行式	15時会場到着	設営
8/3（土）	設営	設営	開会式
8/4（日）	選択プログラム	選択プログラム	6SCナイトイレ
8/5（月）	信仰・奉仕・友情の日		ジャンボリー大集会
8/6（火）	選択プログラム	選択プログラム	交歓
8/7（水）	選択プログラム	環境整備	閉会式
8/8（木）	撤営 出発	16時頃富山着	

指導者養成事業のお知らせ

指導者講習会

H14-4	10/20（日）	高岡市社会福祉協議会館	主任講師 林 慶隆ALT
H14-5	11/23（土）	富山県教育文化会館	主任講師 館 克敏ALT
H14-6	3/23（日）	高岡市社会福祉協議会館	主任講師 橋本 峰子LT

WB研修所

B S第27期	9/20（金）～23（月）	国立立山少年自然の家	所長 梁瀬 正文ALT
---------	---------------	------------	-------------

スカウティング研修会

11/9（土）～10（日）	呉羽少年自然の家	参加対象 指導者講習会修了以上の指導者
---------------	----------	---------------------